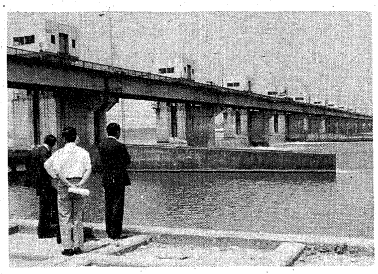
利根の川面切るサケ

流域で目撃者相次ぐ

水資源開発公団 魚道など〝環境〟調査へ

利根川にサケが帰ってきた。秋の訪れとともに、流域の各地で川を遡（さ）上するサケの姿を見かけた人が相次いでおり、一時は「幽霊か」の声さえ出ていた利根川のサケだけに、漁協関係者らの期待を高める一方、こうした中で、昨春、子供たちの手で放流された大量のサケの稚魚が、来年秋には成長して帰ってくる可能性もあり、水資源開発公団や農林、利根川にサケを呼び戻す会（会長、高木貞敬群大医学部教授）などでは「サケが生息して帰れる河川環境づくり」に向け動き始めている。



遡上するサケを見た人たち一サケが見られるようになったのは十月に入ってから。群馬県内での目撃例を総合すると、利根川で

ってみる。

周囲には、同僚にしてサケを釣り上げたが、まだ釣っているとする自信に主民も多い。また、利根大堰を管理する水資源開発公団利根導水総合管理所の職員も、水路落し口みずに「はねるサケを確認している」ほか、東毛漁協の組合員も見かけている。

利根川は戦前、日本で最南端のサケが上る川として知られ、毎年二千～前後（推計）の水揚げがあったが、河川の汚染が進むにつれて徐々に減少。利根大堰の着工（四十年）とともに数は急に減り、昨年は数匹、昨年は数十匹（ともに県の推定）にまで減っており、漁協関係者の間では「もう利根川にはサケがいなくなったのか」の不安さえ出ていた。

利根川には昨年春から合わせ四万五匹の稚魚が、子供たちによって人工放流されている。この稚魚が成長して回帰するのは、早ければ来年の秋。この時期をにらんで、こ

の水資源開発公団は、今月中旬からの予定で、利根大堰の魚道に網を入れ、一定の時間内に遡上するサケの数を調べて全体数を推計、併せて既設の魚道がサケの遡上に影響しているかどうかの調査も行う。また、東毛漁協組合員は大堰周辺で投網を使ったサケの特別再捕調査に踏み切る方針。同時に河川の水質調査なども行われる予定で、多角的に調査のメスが入れられる。

岩田嘉光・利根川にサケを呼び戻す事務局長の話　今の時期にサケが遡上しているというのは時期的にかなり早く、同僚にも「幽霊か」と言われていた。

利根川がサケの回帰に適している能開にあるる。あとはサケが安心して帰れる河川環境づくりを推進するだけだ。来年の秋に向けての期待が大きくふくらんできた。

文真堂書店 OJI-TEN-JAPAN

ステージの出前いたします

前橋の舞台設備会社が開発

祭り行事などこれ一台でOK、前橋市紅雲町二丁目の舞台設備会社が、四トントラックを使った「仮設移動貸しステージ」を開発、このほどリース業務を始めた。同社は「おそらく全国で初めて。経費や毎回のロスを節約できます」とユニークなステージの普及に力を入れている。

同社は、日本舞踊の舞台装置づくりを二十五年間手がけている金髙（しにせ）がリース業務に進出するのを機につくった会社。ステージ用途は、盆踊りや歌謡ショー、企業の商品キャンペーン、選挙応援など多目的で、どこにでも車で移動できるのが〝ミソ〟という。

ステージの広さは幅七メートル、奥行き四・六メートル、両サイドには上手、下手、そして、めくれば舞台裏が充実、身障者用の軽いすスロープも付いている。トラックから直物のステージを組み、照明機材や音響設備などのセット完了まで三人が一時間ほどで準備できるという。

リースは月千円から始めており、すでに県内で数件注文があった。自治会の会合や祭りなどの問い合わせも多い。「自分の会社の問い合わせは（☎027-220-2062）へ。

トラックで自由に運べる「仮設移動ステージ」

人で賄うには、ステージが立派すぎて」と言う。そして同社は将来を引べなど現在改良を重ねている。

ステージ料金は十八万五千円、音響、照明装置などは別料金。同社では「東京ではパンフレット全配ったところ、すぐに四十件ほどの問合わせがあった。縦横コンサートなどが多いようだが、まず群馬の人に使ってもらいたいのです。すべて断っている。県民に使び利用してほしい」と話している。この会社の問い合わせは（☎0272-20-2062）へ。

前橋で最大瞬間風速21㍍

台風18号の影響で、十二日の県内は朝から強い風が吹き、前橋市内では午後一時十六分に最大瞬間風速二一・二㍍を記録。前橋地方気象台は同一時二十分、強風注意報を発令した。

この日の県内は、強風が吹き荒れたものの移動性高気圧におおわれ、最高気温二四・四度と平年よりやや高めの穏かい一日となった。

同気象台によると、この高気圧の影響で十二、十三日は暖かい日が続くが、十四日ごろから低圧の谷に入り、天気は再び崩れそうというこ。

優勝記念セールにつめかけた買い物客＝前橋西武で

主婦にうれしい〝レオV〟セール

西武・西友に人の波

ライオンズ優勝記念感謝セールに人の波。前橋西武、西友桐生店、同伊勢崎店の三店で十一日から四日間、プロリーグ二冠達成を記念した野球、西武ライオンズのパ・リーグ二冠達成を記念した売り出しを行うことになり、この日は平日にもかかわらず大勢の買い物客でにぎわった。

前橋西武では「ご声援感謝ライオンズ優勝記念」と題して、同伊勢崎店の三店で十一日から四日間、プロ野球、西武ライオンズのパ・リーグ二冠達成を記念した売り出しを行うことになり、この日は平日にもかかわらず大勢の買い物客でにぎわった。

前橋西武では「ご声援感謝ライオンズ優勝記念」と題して、同伊勢崎店の三店で十一日から四日間、プロ野球、西武ライオンズのパ・リーグ二冠達成を記念した売り出しを行うことになり、この日は平日にもかかわらず大勢の買い物客でにぎわった。

ダンボール箱に放火？

前橋国体テント内

十一日午前三時ごろ、前橋市表町二丁目の前橋駅国体用接待所テント内にあったダンボール箱から火が出ているのを、同所を見回っていた国体警備員が見つけ、水をかけて消し止めた。

県国体事務局によると、火の出ていたダンボール箱は同接待所正側のロッカー前にあり、中には観光パンフレットなどが入っていた。幸い消火が早く、箱の中の中心部が燃えただけで、テントなどに被害はなかった。

同接待所は、国体で前橋駅とんでの観光客を二千五百人余り、昨年のセールの倍増を目指している。

一方、西友桐生店と同伊勢崎店でも客の入りは「通常の二倍程度」を名乗る。西武系通常セール兄弟で勝った場合も記念セール兄弟を行うと定という。

平日コンペは お得なセット料金で!!
10,600円（1名・1R）
グリーンフィ・キャディフィ・ロッカーフィ・諸経費・利用税・昼食を含みます。
※人数8名（2組）以上
※期間11月中
（10月は1,000円増となります）
快適なロッヂも完備（60名収容）
上毛森林 カントリー倶楽部
群馬県吾妻郡高山村（渋川ーコース車で20分）
●お申し込み・お問い合わせはご電話
☎027963-2221・2

食通も必ずご満足
カレーショップ グルメ
前橋市荒牧町（国道17号）
オートトラック前橋内（33）8293
AM10:00～PM7:00 定休火曜

時の話題

二、三回甲と県の大封同約千二百人の観光客が、一時、駅の中心部が埋まるほどの賑わいを見せた。

▽食品業規制法はいわゆる「ザラ金規制法」のこと。従来の出資法に比べて厳しく改正されるため、県商労部は来月一日の施行を前に、業者に説明会の参加を呼びかけてきた。しかし、この日の参加者は、通知を出した所十九人のうち四分の一のわずか三十二人。

▽県事務所では「通知を出したつも、残ったはいきが二十滝。それにしても四分の三が不参加とは、どういうことなのか…」と首をかしげていた。

▽この分では冬は先が思いやられます。

高崎商労事務所は十一日、藤岡市の藤岡公民館で県内のトップを切って貸金業規制法の説明会を開いたが会場はガラガラ。業者の冷たい反応に、説明する関係者も戸惑っていた。

▽この日、藤岡市の藤岡公民館で県内のトップを切って貸金業規制法の説明会を開いたが会場はガラガラ。業者の冷たい反応に、説明する関係者も戸惑っていた。

▽食品業規制法はいわゆる「ザラ金規制法」のこと。従来の出資法に比べて厳しく改正されるため、県商労部は来月一日の施行を前に、業者に説明会の参加を呼びかけてきた。しかし、この日の参加者は、通知を出した所十九人のうち四分の一のわずか三十二人。

▽県事務所では「通知を出したつも、残ったはいきが二十滝。それにしても四分の三が不参加とは、どういうことなのか…」と首をかしげていた。

覚せい剤を追放し明るい社会を！

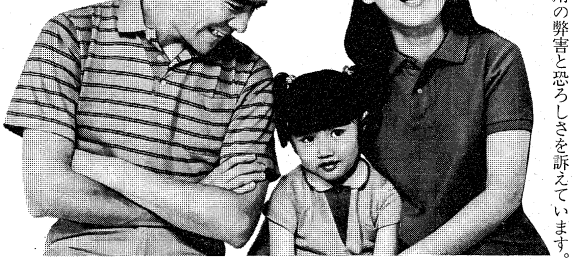
―幸せな家庭を壊さないために―

覚せい剤使用のきっかけは、「好奇心から」とか「人に勧められて」とかいった単純なものがほとんどです。

そんな安易な気持から、幸せな家庭を一瞬にして壊してしまってよいものでしょうか。

泣くのはあなた一人だけではありません。最愛の家族まで悲しませることになるのです。

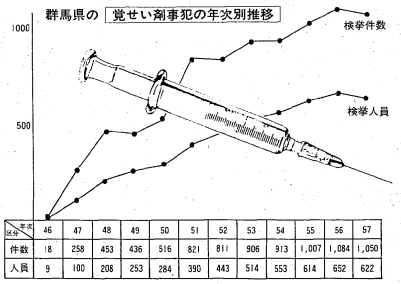
覚せい剤による悲劇をなくすためには、一人ひとりが覚せい剤の乱用を許さないという心がまえをもつことが大切です。



覚せい剤乱用防止に推進員…

県では、覚せい剤の乱用が、一般市民層、特に、主婦や青少年層までにも広まりつつある状況に対処し、覚せい剤に関する知識の普及を図るため、「群馬県覚せい剤乱用防止推進員制度」を設けており、薬剤師、保護司、民生委員の方々四〇〇名を推進員に委嘱しています。

薬剤師は薬局の店頭において、保護司は犯罪をした者の更生指導を通じ、民生委員は生活保護指導等を通じて、それぞれの専門的知識を活用し、覚せい剤乱用の弊害と恐ろしさを訴えています。



年次	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
件数	18	258	453	436	516	821	811	906	913	1,007	1,084	1,050
人員	9	100	208	253	284	390	443	514	553	614	652	622

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。